

H24年度 柏原市市民意識調査意見に対する回答（抜粋）

意見項目	回答	回答担当課
広報誌や情報発信に関すること		
<p>市政だよりが活用されていない。高齢者に読める大きい字にしてほしい。</p>	<p>本市の広報誌は、標準とされるものと比べて「大きな字」を使用しています。このため、府下各市の中で比較しても文字が大きくなっています。したがって、文字の大きさという面では、字が小さくて読みづらいというご要望に、可能な範囲において既に対応しているものと認識しています。たいへん申し訳ございませんが、情報量を確保しつつ、誌面のバランスも考慮する必要があるため、当面、さらに文字を大きくする予定はございません。今後も、レイアウトなどを工夫し、読みやすい誌面づくりに努力いたします。</p>	<p>広報広聴課</p>
<p>市から市民の皆さんに行っている数多くの行事は、「市政だより」のみならず、もっとアピールした方が良いかと思えます。</p>	<p>ご指摘の広報誌以外でのアピール方法について、課題があると認識しています。まずは、市のホームページによる情報発信に力を入れてまいります。また、相互に情報共有できる広報手段として、SNS（ソーシャルネットワークサービス）の利用も、新たに平成25年度から取り入れています。今後も、さらなる充実に取り組んでまいります。</p>	<p>広報広聴課</p>
市の施策に関すること		
<p>調査するだけでなく、早く改善して行動してほしい。また、質問が何が聞きたいのかわかりにくく、抽象的すぎるし言葉のニュアンスがわかりにくい。</p>	<p>市民意識調査は、今後のまちづくりの方向性や行政サービス向上に向けた取組を検討するために、市民の皆さまにご協力をお願いしました。今回いただきましたご意見は、各担当に回答を求め、柏原市のホームページに回答を記載します。質問事項につきましては、平成23年度に策定しました「第4次柏原市総合計画」に記載しました内容となっています。ご指摘をいただきましたご意見は、次回アンケートで改善させていただきます。</p>	<p>企画調整課</p>
<p>仕事をしている人、日曜日しか休みでない人にも対応してほしい。</p>	<p>行政サービスの向上を図るため、市役所窓口の開庁時間の延長等を検討しております。</p>	<p>企画調整課</p>
<p>環境、産業、暮らし、教育、行政運営など、報告や説明を地域にしっかりしてほしい。</p>	<p>これまで本市では、広報誌によって、市勢に関する情報を市民の皆さまに伝えてきました。平成25年7月から、市のフェイスブックを立ち上げ、より詳細かつ迅速な情報発信に努めています。また、平成25年10月には地域担当職員制度を導入し、地域と市役所のパイプ役を担う地域担当職員を配置しております。</p>	<p>企画調整課</p>
<p>市民の楽しみである花火大会をもう一度行うようにお願いします。費用は市民が少しずつ出し合っても、開催してほしい。</p>	<p>平成25年8月24日（土）に市民総合フェスティバルのプログラムの一つとして、かしわら花火が開催されました。市民の皆さまから古本及びテレホンカードを提供していただき、かしわら花火の財源に充てることができました。かしわら花火を継続していくため、引き続き市民の皆さまのご協力をいただきたく考えております。</p>	<p>地域連携支援課</p>
まちづくりに関すること		
<p>近鉄沿線の駅周辺のにぎわい、元気あるまちづくりが必要だと思う。</p>	<p>平成23年度に策定しました「第4次柏原市総合計画」では、本市の将来像を「市民が生きいきとし にぎわいにあふれているまち 柏原」としています。将来像の実現に向け、平成25年8月に機構改革を行い、市のイメージアップ、地域資源の再発見、市のブランド確立のために、まちの魅力づくり課を新設しました。今後、さらになぎわい大阪ナンバーワンの魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。</p>	<p>企画調整課</p>
<p>堅下駅前再開発について</p>	<p>JR柏原駅東側から堅下駅を含む地域は、本市の中心市街地の核をなす区域と位置付けており、その機能を果たすため、大規模な整備が必要と考えております。しかし、事業を遂行するため、現状の基礎調査と総合的な計画の策定が必要となり、多額の費用が発生します。地元の要望があることは認識していますが、本市の財政状況が厳しいため、実現できていない状況です。今後も引き続き財源確保に向けて、国や府に対して働きかけを行ってまいります。</p>	<p>都市計画課</p>
<p>旭ヶ丘は過度な宅地開発が行われていると感じる。例えば、旭ヶ丘2丁目10あたりは十数年前までは未舗装の小道が存在し、周囲には草木を主とする豊かな植物相が見られ、当時の私を含め、青少年が自然に親しむことのできる数少ない貴重な環境が存在していた。しかし、現在は大規模な造成工事が行われ、柏原市水道局付近まで続く舗装道が整備され、当時「キツネ谷」として地元住民から親しまれていた環境は完全に失われた。公園の樹木や整えられた芝の「緑」とありのままの自然の「緑」はまったく異質なものである。仮に過去に人の手が入った環境であれ、自然にまかせて遷移し、恵まれた動物相および植物相は、比類なき多様性を有している。住環境の安全性向上のための開発を軽視するわけではないが、人と自然の接点が失われていくことは残念に思う。</p>	<p>この問題は、市街化を進める過程において避けて通れない問題であり、市街地整備によって、本来あった自然環境のいくらかの部分が変わっていくのが現状です。しかし、豊かな自然が柏原市の特徴であり、この豊かな自然を守るため、開発指導を通して環境保護に努めてまいります。また、都市計画行政において、緑地の確保を進めてまいります。</p>	<p>都市計画課</p>

<p>都市計画のアンバランスから住み良い自慢の出来る街並みでは決してない気がします。</p>	<p>ご指摘の意見について、本市は平野部と手つかずの空き地が少ないため、小さな規模での開発が多くなされております。市民の皆さまが自慢できる街並みの創出を目指して事業を進めてまいります。</p>	<p>都市計画課</p>
<p style="text-align: center;">行財政に関すること</p>		
<p>税金の無駄使いが目立つ、払った税金分に見合わない。</p>	<p>本市は、平成17年度に「柏原市新行財政計画」を策定し大きな効果をあげました。続く「柏原市行財政健全化戦略」では、持続的で自立的な行財政基盤の確立と財政の健全化を目標としています。平成23年度に策定しました「第4次柏原市総合計画」では、中長期的な展望に立った財政健全化計画の下、歳入や財源を踏まえた支出予算の配分と管理を適正に行い、安定した計画的、効率的な財政運営を行うこととしています。今後も更にコスト意識を持ち、経費の削減及び効率化に取り組みます。また、皆さまからいただきました税金は、柏原市あるいは柏原市民の皆さまのために有効に活用させていただいております。特定の地域に限定することなく、公平性の高い行政サービスの提供を目指しています。今後、受益者負担などを見直すとともに不公平感のないよう努めてまいります。</p>	<p>企画調整課</p>
<p style="text-align: center;">防犯に関すること</p>		
<p>夜遅くになると危険なため、何かしらの安全策を取り込んで、安心して生活できる柏原市を望みます。</p>	<p>本市では、市民が安心して暮らせる犯罪のないまちとするため、防犯設備の整備や維持管理を行うとともに、青色防犯パトロールの実施により犯罪の防止に取り組んでいます。柏原警察署、柏原防犯協会等の関係機関と連携を強化するとともに、引き続き、地域を主体とする防犯活動を推進し、犯罪が起こりにくい環境づくりに努めてまいります。</p>	<p>地域連携支援課</p>
<p>夜道を歩ける町内へと、もっと明るく灯す街灯を、数も増して設置して頂く予算は捻出できないでしょうか？年末になると、各町会で「火の用心」の見守り隊が発足されますね。本当に有意義な事だと思います。年末だけでなく、日常も、この見守り隊を何か他の方法で、結集できないでしょうか。</p>	<p>本市では、市民が安心して暮らせる犯罪のないまちとするため、防犯設備の整備や維持管理を行うとともに、青色防犯パトロールの実施による犯罪防止、防犯灯のLED化に取り組んでおり、平成24年度からLED防犯灯の新設について、地域に補助金を支給し、防犯灯を増やすことで街頭犯罪の発生抑制を図っています。引き続き、防犯整備への予算を拡充していくよう取り組んでまいります。柏原防犯協会に補助金を交付することで、地域の防犯活動を支援し、地域主体の自主防犯組織づくりを推進してまいります。</p>	<p>地域連携支援課</p>
<p style="text-align: center;">サンヒル柏原に関すること</p>		
<p>柏原市としてアピールできるものを、もっと積極的にもっと継続的に取り組むべきと思います。サンヒル柏原内での売店のあり方、売店をただ宿泊客のみを対象にするのではなく、もう少し広げて宿泊客以外にも気軽に買える柏原の特産店を設置してはいかがなものか。他市から来られている方への柏原のPRにもなるし、意外と柏原の市民は地元の良い物や良い所を知らないもので、足元から固めていってほしい・・・と思う。以前にケーキを置いていたが、折角、有名な店のものが消極的な売店のあり方で、かつ消費期限維持の為に内容が違っている為、イメージダウンしてしまったと思う。いろいろな取り組みはされて今迄とは違ってきているが、行政としてもう少し思い切った改革をと思う。</p>	<p>平成25年8月1日に市役所の組織を一部変更し、政策推進部の中にまちの魅力づくり課を新設しております。まちの魅力づくり課では、本市の魅力を生み出すだけでなく、他の都道府県にお住まいの方々にも発信できるように取り組んでまいります。また、柏原の特産品を市民はもちろんのこと市外にお住まいの方々へも積極的にPRしていきます。サンヒル柏原の売店は、柏原産（もん）を中心とした市内唯一の土産物店として、宿泊客だけでなく一般の方々はもちろん、プールやテニスコートを利用される方々も利用することが可能となっております。お気軽にご利用ください。</p>	<p>まちの魅力づくり課</p>
<p style="text-align: center;">市の施設に関すること</p>		
<p>先日、市役所へ行き、帰りに、昔のプールの便所へ行き、ビックリしました。これが柏原の顔かなと・・・。</p>	<p>ご意見をいただいている施設は、以前に市営プールの利用者用トイレとして設置していました。市営プール廃止後は、主に河川敷公園に来られた方や市役所閉庁時においてご利用いただいております。しかしながら、経年により施設が老朽化していることから、利用者の皆さまにご不便をおかけしていることは十分認識していますが、新たに設置するとなると多額の費用が必要となり、現状の財政状況では大変困難であります。今後、財政状況を見ながら検討してまいります。</p>	<p>総務課</p>
<p style="text-align: center;">市内循環バス（きらめき号）に関すること</p>		
<p>年寄りに優しい街になってほしい。365日、年中利用でき、土、日、祝日の運行をしてほしい。</p>	<p>一年を通じて土・日・祝祭日の運行を実施する場合、①緊急事態に対応するための体制整備の問題、②車両維持費、燃料費、人件費などの支出増加による市財政の問題、③運転業務に従事する職員確保の問題など、さまざまな検討課題があります。今後、このような課題を踏まえ、将来的にバス事業そのものを持続可能な事業形態となるように検討することが必要であると考えております。本格的な少子高齢化社会を迎えている現在、公共交通への依存度は高く、市内循環バス事業として当面果たすべきことは、買い物、通院など日常生活を営むための生活交通を充実させ、市民生活の足の確保と考えております。また、地域に密着した質の高い輸送サービスの提供を行いながら、新たな市民ニーズの把握に努め、停留所、運行ルート、運行時刻などの見直しを行うなどの市民要望を満たすことであり、これを実現していくことが、お年寄りに優しいまちになるものと考えております。</p>	<p>車両運行課</p>

<p>市民バスが通っておりますが、私は便数が少なく感じます。一番必要とする時間にバスがない。高井田台より、市民病院へのバスもない。何とか考慮頂ければと思います。</p>	<p>高井田台バス停留所には、朝8時台から夕方5時台まで、一日に13便のバスを運行しており、循環バス全体の運行ルート、運行時間を勘案しますと増便することは現状では困難であると考えております。市内循環バスは、市民の皆さまから停留所の新設やルートの見直しなど、多数のご意見をいただいております。今後も、現行ルートの弱い箇所の補完や乗り入れ困難な地域への対応など、さまざまなニーズの実現に向けて検討を進めてまいります。バス事業の全体的な見直しを実施する場合には、これまでのご意見を参考に利便性の向上を図る施策を実施してまいりたいと考えております。次に「市民病院へのバスがない」というご意見については、平成19年4月から市立柏原病院循環送迎バスを運行しております（土・日・祝祭日は運休）。この送迎バスは、市立柏原病院への通院に不便を感じておられる患者の皆さまの通院手段となるよう、また、お見舞などで病院へ行かれる方にご利用いただけるよう、市内循環バス「きらめき号」が運行できない地域を基本に運行しております。電話による完全予約制ではありませんが、病院へ直行できるバスですので、ご利用の希望日時をお申込みいただきお気軽にご利用ください。</p>	<p>車両運行課</p>
<p>きらめき号の利用を子ども連れでも使いやすく便も増やしてほしい。</p>	<p>バスの車内にベビーカー、手押し車などを保管する場所がないため、ご不便をおかけしていることもございます。また、バス停留所間の距離が短く頻繁に乗降が行われるために通路を確保しておりますが、できるだけご乗車していただけるように補助席のご利用もお願いしており、ベビーカーなどを持たれた利用者の方や他の利用者の方からもご要望やご不満を聞いております。高齢者の方はもちろんですが、妊産婦・子育て世代の外出、通院等に利用しやすいバスとして子育て環境の良質な機能の役割を担うため、今後、利用実態を踏まえながら市民ニーズの把握に努め、工夫を凝らして、より快適にご利用いただけるよう努めてまいりたいと考えております。</p>	<p>車両運行課</p>
<p>市民の大切な足である市内循環バスきらめき号についてですが、便利でおまけに無料ということで、利用されている方が沢山います。しかし、無料ということがネックになり、年間1回乗るくらいです。1回乗車につき、ワンコイン100円ではどうでしょうか。</p>	<p>バス利用に対する料金を徴収する場合は、旅客自動車運送事業として法律の適用となり、許可条件等によっては、現在ご利用いただいている停留所の10か所以上が廃止となり、運行ルートも変更、削減が見込まれ利便性が悪くなると予想しております。他の自治体では、利用者が減少しバス事業が廃止された事例もあり、有料化は慎重に検討すべき課題であると考えております。将来的な事業のあり方につきましては、福祉型のバス事業から一部受益者負担の導入も含めた具体的な構想の検討も行う必要があると考えております。</p>	<p>車両運行課</p>
<p>職員に関すること</p>		
<p>職員の給料が高すぎる。</p>	<p>公務員の給料は、官民給与の比較を行い、両者の格差を算出し、職員の給与を民間給与に合わせる（民間準拠）になっており、市役所職員の給料の算定については、国家公務員の給与にできるだけ合わせたものになっております。国においては毎年人事院勧告により、職員給与と民間給与を合わせる勧告を行っており、政府も勧告を尊重した給与の決定を行っていることから職員の給料が高すぎるということはないと考えております。</p>	<p>人事課</p>
<p>職員の態度、言葉使いが横柄。行政サービスが税金によって成り立っており、給与も血税によって支払われていることを自覚すべき。</p>	<p>市役所における接遇は、日々の業務において常に意識しなければならないことであり、接遇の向上は、市役所が最大のサービス機関であるための使命でもあります。横柄な態度をとり市民の皆さまに不快な思いをさせることがないように十分に配慮すべきであり、以前と比べて良くなったというお声もいただいております。しかし、残念ながら全ての職員にまで徹底できておりません。職員の接遇能力向上を目指し指導や研修を行っているところではありますが、市民の皆さまが気持ちよく行政サービスをご利用いただけるよう、研修等を強化して職員全員の接遇意識向上を目指してまいります。</p>	<p>人事課</p>
<p>税金に関すること</p>		
<p>固定資産税も高いし市民に対してのサービスが少ない。</p>	<p>固定資産税は土地や家屋の財産価値によりご負担をお願いしております。この財産価値は、法律により国が定めた基準により決定されます。したがって、家屋に関しては、同じ面積・同じ材質・同時期に建築した場合、また土地に関しては、同じ面積・同じ形状・同じ地目で基準となる土地価格が同じ場合であれば、柏原市と他市において土地及び家屋の固定資産税額に違いが生じることはございません。ご負担をいただいた固定資産税は、無駄を省き市民福祉・市民サービスの向上や都市基盤の充実を図るための貴重な財源として市民の皆さまが納得いただけるよう、有効に活用させていただいております。</p>	<p>課税課</p>
<p>窓口サービスに関すること</p>		
<p>住民票等の発行をコンビニで出来るサービスがある市があるとTVで見ました。柏原市でもサービスできないでしょうか？平日に仕事で行けないので、すごく助かるサービスと思います。</p>	<p>住民票等をコンビニで交付するには、交付システムの構築と住民基本台帳カードの普及が不可欠です。システム構築には高額な初期投資が必要であり、保守管理においても高額な経費を要します。また、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の実施により、住民基本台帳カードは平成26年12月に廃止され、新たに個人番号カードの利用が開始されるため、交付システムの改修を行わなければなりません。さらに、マイナンバー制度の実施により、住民票等の交付件数が減少することも予想されます。こうした状況から、住民票等のコンビニ交付は、マイナンバー制度実施後に費用対効果も含め、総合的に判断する必要があると考えます。平日、ご来庁いただくことが困難な市民の方におかれましては、平日午前9時から午後5時15分の間に電話で受付し、土・日曜日の午前9時から午後4時の間に、本庁地下1階宿直室にて交付しており、郵送での受付・交付も実施しております。</p>	<p>市民課</p>

国民健康保険に関すること		
<p>国民健康保険料が高すぎる。柔道整復師への支払いについて、もっと厳格に職員が審査すべきだ（チラシで市民に啓発する程度では手ぬるい。）。</p>	<p>国民健康保険は、被保険者の医療費から国・府等の負担金、交付金及び一般会計からの繰入金等を差し引いた額を保険料で賄う仕組みとなっております。高齢化の進捗や医療技術の高度化・高額化により年々医療費が増え続けている現状では、保険料の引き下げは困難なものとなっております。被保険者の負担を少しでも軽減できるよう、医療費の適正化に努めております。柔道整復師への支払いにつきましては、点検のための専門知識（資格）を有する職員を採用しており、一般の医療費と同様に請求のあった全件を点検することで、不備なものは返戻し、不明なものは被保険者及び施術者に問い合わせ、不正が疑われるものについては、近畿厚生局に通知するなど医療費の適正支出に努めております。</p>	<p>保険年金課</p>
<p>国民健康保険料の料率が柏原市は高いと思われる。不足は直ちに負担ではなく検討すべき事があるのでは？</p>	<p>国民健康保険料は、被用者保険等と比較すれば高くなりますが、他市の国民健康保険と比較すれば、平成25年度大阪府下43市町村中19位、中部9市中6位の保険料となっております。また、被保険者の負担を軽減するため、国・府の補助金等を獲得するとともに医療費の抑制（保健事業・ジェネリック医薬品の普及促進）、医療費の適正化（レセプト点検強化等）に努めております。</p>	<p>保険年金課</p>
環境やゴミに関すること		
<p>ゴミの収集時間が昼前って遅すぎる。</p>	<p>一番効率の良い収集ルートを業者が定めており、毎回決められたルートで収集しています。そのため、朝一番（午前7時台）に収集する地域や、昼前に収集する地域が生じてきます。その日のゴミの量・天候・交通状況によって多少の遅れが生じることもあります。市民の皆さまには午前7時までにゴミを出してもらうようお願いしています。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>外国人のゴミ出しが注意しても「言葉がわかりません。」と言われる。ゴミ出しのマニュアル本（小冊）を渡してほしい。英語や中国語、ハングルといった表示できるプラカード、はり紙などを市政だよりにはさんでほしい。言葉のカベは様々な環境に出てます。</p>	<p>いただいたご意見を活かすため、本課で外国人向け（英語・中国語）のごみの分別・収集を記したマニュアルを作成するため、現在関係課と調整を行っております。このマニュアルの配布については、広報誌にてご案内いたします。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>ゴミ収集について、資源ゴミの収集日が、夏期（5～10月）は第2・4水曜日の月2回、冬期（11～4月）は第2水曜日の月1回になっていますが、夏期に合わせて冬期も出す人が多く、注意をしても、又同じ事が繰り返され困っています。夏期2回になった理由は、多分、量が多くなるとの事だと思いますが、各家庭で責任を持たせ月1回に戻せば、この問題は解消できると考えます。特に、年末年始は、ゴミ（カン、ビン等）の山になり、苦情も出ています。回覧が来ていますが、残念な結果です。</p>	<p>本市では、飲料用の空き缶、食用・飲料用の空きビンなどを資源ごみとして回収しております。5月から10月は暑さなどのために飲料水等の消費量がどうしても増加すると見込んでいるため、5月から10月までを月2回、11月から4月までを月1回の資源ゴミの回収とさせていただきます。ごみの収集は市民生活に直結しておりますので、収集日を変更するためには現行の収集回収が妥当なものであるかを検証する必要があります。夏期のゴミ排出量から判断して、適切な収集回数を検討してまいります。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>環境対策について、ボランティアをフルに活用し、外部の業者を活用し、経費の支出を抑えていく。太陽光など省エネを進め、公的な場所（役所、学校、病院・・・）に設置していく。</p>	<p>環境対策におけるボランティアの活動には、環境美化推進員制度や生活排水対策推進員制度があります。これらの制度によって、地域における環境美化や生活排水対策の啓蒙活動に取り組んでおります。また、現在、柏原市堅下区長会、築留土地改良区、EMふれんず、生活排水対策推進員のご協力を得て、恩智川の河川清掃を実施しています。この河川清掃に学生の皆さんが、ボランティアとして参加できる仕組みを検討しています。ボランティア活動を通して、環境への意識向上を図ることができ、それがより良い環境づくりにつながるものと考えております。太陽光発電の導入など省エネの取組として、駅前の時計や、せせらぎ水路のフットライトに太陽光発電を利用しています。また、平成25年度からは、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の補助金制度を実施しております。市内事業者の活用を補助要件としており、地域経済の活性化、雇用の拡大とともに環境分野における事業者の育成を図っていきたくと考えております。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>ゴミのポイ捨てによる道路の環境の劣化、タバコの吸殻のポイ捨てやジュースのカンカラが目立つ。市民の意識向上を望む。</p>	<p>本市では、柏原市犬のフンの放置及びポイ捨てによるごみ等の散乱の防止に関する条例に基づき、各地域において地元区長及び美化推進員により、タバコ吸殻のポイ捨て禁止、ジュースの缶ポイ捨て禁止、犬のフンの放置禁止及びごみ等の散乱防止の啓発活動、巡回活動等を行っていただいております。そのことにより、犬を散歩させている方や地域住民にモラルの向上とポイ捨て等の抑止効果を期待するとともに環境美化意識を醸成していただけるものと考えております。本市では、これらの包括的な指導、看板の設置、地域美化清掃用のごみ袋の提供及びこれらのごみの回収を実施しており、環境美化意識向上に取り組んでいるところです。引き続き、喫煙マナーの啓蒙等も含め、皆さまのご協力のもと、市民意識向上のためさらに啓発活動の強化に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>市内を流れる恩智川をもう少し美しくできないでしょうか。いろいろなものが投げ捨てられたり、よつ壁は汚れ、雑草が生え、景観を損ねています。定期的な清掃と緑化も検討してください。</p>	<p>近年、恩智川の水質は、下水道の整備や生活排水対策の推進により、改善傾向にあります。しかし、流域住民の方からは、見た目では以前とほとんど変わらず汚れている、美観を損ねているなどの意見をいただきます。その要因の一つに河川内のごみのポイ捨てなどによる浮遊ごみがあります。本市では、これまでに恩智川クリーンUPとして、流域の堅下区長会や、築留土地改良区、EMふれんず、柏原市生活排水対策推進員の協力を得て、流域の河川清掃を実施しておりました。平成25年度からは、恩智川の河川管理者である大阪府と流域となる大東市、東大阪市、八尾市、柏原市が連携し、恩智川流域の美化に対する取組を拡大しております。平成25・26年度は、恩智川流域で一斉清掃、リーフレットの作成による啓発を重点取組としております。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>国分本町には野良猫がたくさんいて、公園や家のまわりにフンをしていたりするので、安心して子供を遊ばす事ができません。野良猫が減るような対策をしてほしいです。</p>	<p>野良猫の問題については、基本的に保健所の管轄となっております。市としてできる対策は、地域の皆さまのご協力のもと、「猫へのエサやり禁止」や「ごみの管理徹底」の看板を設置することや地域巡視による啓発活動を行うことです。個別のご相談につきましては、大阪府保健所藤井寺分室（072-937-1101）までお電話していただきますようお願いいたします。</p>	<p>環境保全課</p>

<p>犬のふんが町にたくさんあり、大変嫌な思いをします。マナー向上、又はノラ犬の対策をお願いしたいです。住み始めた時がっかりしました。</p>	<p>本市では、柏原市犬のフンの放置及びボイ捨てによるごみ等の散乱の防止に関する条例に基づき、各地域において地元区長及び美化推進員と、犬のフンの放置等の啓発活動、巡回活動等を行っております。そのことにより、犬を散歩させている方や地域住民にモラルの向上とボイ捨て等の抑止効果を期待するとともに環境美化意識を醸成していただけるものと考えております。本市では、マナー向上も含めた啓発用看板を作成しており、必要とされる方に対してお渡しするとともに定期的に広報誌でも啓発を行っております。一方、野良犬の対策については、管轄は保健所になります。保健所にて、自宅あるいは周辺まで出向き捕獲を行っておりますが、詳しくは、大阪府保健所藤井寺分室（072-937-1101）までご相談いただきますようお願いいたします。</p>	<p>環境保全課</p>
<p>住みやすいまちづくりのために、環境を整えることが大切である。まずは、JR高井田駅周辺にゴミ箱がないため設置してほしいと思います。ゴミを路上に捨てる人が多いのか、ゴミだらけが気になります。ゴミ箱1つあるだけで環境はかわると思います。物騒な世の中であるため、パトロールを強化する必要があると思います。</p>	<p>以前は、JR高井田駅にゴミ箱を4か所設置しておりました。しかしながら、一部の駅利用者の方と思われるが、家庭ゴミを持ち込みされるため、ゴミ箱周辺が毎日のようにゴミであふれておりました。また、あふれたゴミが飛散するなど苦情も多数ありました。そのため、現在は、駅利用者の方には大変ご不便をおかけしておりますが、ゴミ箱を撤去させていただきました。ゴミ箱を撤去した結果、月4回の清掃でなんとか対応できていると考えております。</p>	<p>道路水路管理課</p>
<p>産業や農業、就労に関すること</p>		
<p>大企業の経営悪化の中、中小企業の育成と雇用の拡大を進め、市の財政を強化する。農業は、柏原ブランドとしてぶどう酒を全国にアピールする営業活動を積極的にしてほしい。未開発の山間部に新たな商業施設や住宅、農業などを展開する。</p>	<p>本市は、市商工会に補助金を交付することで中小企業の育成を推進しております。また、柏原市雇用開発協会に補助金を交付して、会員企業の雇用の確保を支援し、また、ハローワーク河内柏原などと連携してジョブマッチングを開催することで雇用促進に努めております。ブドウ酒のみならず柏原の代表的な産物を全国的にアピールできるよう、今後関係機関と検討してまいります。山間部の開発には多額の費用を要し、立地条件など解決すべき課題が多くあります。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>柏原市全体としては、住みやすいと感じているが、市内の商店街（オガタ通り・大正通り）があまりにも寂しい現状がある……。打開策がないのかと思い、昔の商店街を知っている世代としては寂しい限りである。</p>	<p>商店街に賑わいを取り戻すため、商工会と連携してアゼリア柏原横で「とくとく市」を、駅前駐車場でジャズコンサートを開催しております。オガタ通り商店街の活性化を図るため、大阪府のまちづくり一体型商店街活性化推進事業の補助金を活用して、今後の商店街のあり方を商店街関係者、市商工会、地域の方、専門家と検討してまいります。本年度は、10月に、スクラッチカード・キャンペーンを実施し、市内での消費拡大と商店街等のにぎわいづくりを図る予定となっております。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>悪人の少ない町や国が良い町良い国であるのであって、万事お金の世の中と、それを追求するあまり悪い町悪い国にならない様にならない。地域を盛り上げ、雇用を促進するにはどうすれば良いのか。大学を卒業しても仕事がないのでは、若者がかわいそうだ。皆で考えなければならない。</p>	<p>現在、就職困難者に対する就労相談や若者向けの仕事さがし相談会を地域就労支援事業として行っております。また、ハローワーク河内柏原、市商工会と連携して求職者向けにジョブ・マッチングフェア（合同就職面接会）を年4回実施しており、今年度から新たに八尾市と共催で面接会を予定しております。本市としては、今後もハローワーク河内柏原など関係機関と連携しながら、就労支援に努めてまいります。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>子育てに関すること</p>		
<p>子育て支援の施設を、あと2ヶ所程小さくとも。</p>	<p>子育て支援施設は、スキップKIDS（オアシス）、ハローKIDS（国分保育所）、ハーモニー（旭丘まぶね保育園）の3か所で親子教室や施設開放事業などを行っております。つどいの広場は、たまたまこ、ホットステーション、ドレミファごんちゃんの3か所にあり、自分たちのペースで自由に安心して楽しく過ごせる場所を提供しています。これらの他に新設となると非常に難しく、現状では既存の施設での事業内容充実を図っていきたいと考えております。</p>	<p>こども課</p>
<p>子供の親子教室が国分は少ない。</p>	<p>国分保育所に併設しております子育て支援センター「ハローKIDS」に、平成25年4月から専属の職員を配置しており、子育て相談や親子教室の充実を図っております。また、ハローKIDSで行う事業については、積極的に周知を図ってまいります。</p>	<p>こども課</p>
<p>夜間保育を検討してほしい。</p>	<p>保護者の病気や火災などで一時的に家族の養育が困難となった児童につきましては、児童養護施設でショートステイ事業を実施していますので、ご利用ください。なお、保育所での日常的な夜間保育につきましては、現時点での実施予定はございません。</p>	<p>こども課</p>
<p>乳幼児医療の拡充をしてほしい。大阪市との差が医療面でありすぎる。ぜん息児童が柏原市に多いと言われているのに助成がない。柏原市が多いのは、地理的条件での病気だと考えられ、ぜん息医療は助成すべきだと思います。また、大阪市では、中学を卒業するまでが通院助成のある一般受診について、柏原市は小学生からかかるというのは、とても納得できません。当然、人口流出にもつながると思われ。子育てに力を注ぐ町ということで柏原市に引越してきましたが、いまいち実感が沸きません。市民、特に老人は通学路に立ってくれたりしてくれていますが、行政が何か特別な事をしてきている、と感じる事がありません。近隣（市、町）との関係からみて、他の市がすぐれている所が多々見受けられます。柏原市は助成制度（医療、太陽光発電補助等）見直すべき。柏原市に住むメリットがほとんど感じられない。友人にも進められない。</p>	<p>こども医療費助成の拡充につきましては、特に多額の経済的負担が発生する入院に対して、平成24年4月から小学生への助成を行っており、さらに平成25年8月からは中学生への助成を開始しております。通院は、現在小学校入学前までの児童に助成を行っておりますが、本市の財政状況を勘案しながら、拡充を検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>こども課</p>

高齢者福祉に関すること

<p>老人センターがなぜ山の上にあるのか理解できない。利用しやすい平地に移してほしい。体育館が利用しやすくなった。</p>	<p>柏原市老人福祉センターやすらぎの園は昭和56年に竣工し、高齢者の方々の介護予防、健康づくりなどの事業に取り組み、1日あたり平均160人の市民の方々に利用いただいております。現在の老人福祉センターは丘陵地の山頂付近に所在しているため、アクセスにつきましては大変ご不便をおかけしております。ご利用に際しては、市内循環バスのきらめき号をご利用ください。老人福祉センターは、施設の開設から30年以上が経過し、老朽化が激しい箇所も見受けられることから、当センターのあり方について検討してまいりたいと考えております。</p>	高齢介護課
<p>旧国道170号線の東側（山側）で居住しているが、今後、体力低下や病気のため活動ができにくくなる（既に、そうなりつつありますが）、加えて山側は病医院もスーパーもコンビニも無い状況で、生活が極めて制限されてきている。自分達の子供がいても、仕事の都合や稼いで遠方に住んでいる場合が多く、残った老人夫婦や独居老人が、すぐ傍らに駅や病医院やスーパー、コンビニ等が無ければ生活ができなくなる。教育や人権や産業等もちろん重要目つ大切な問題だが、生きる為に直接関係する基礎的な環境づくりが最重要問題と思う。これは、国の抱えている問題だが、老人に手厚い政策ということではなく、老人でもある程度の体力と気力があれば自立できる環境づくりを、是非お願いしたい。国の施策に先んじて実施できる市町村が、その地域を活発にするのではないかと考えます。</p>	<p>本市では、高齢者虐待、孤独死、買い物弱者といった、高齢者が抱える様々な相談に対応するため、高齢者いきいき元気センターを設置しております。同センターには、保健師・社会福祉士・主任ケアマネを配置し、それぞれの専門性を活かしながら、介護・医療・福祉サービスを組み合わせ、相談者の課題解決に取り組みさせていただいております。また、同センターには、見守りを専属とする職員も配置しており、定期的に一人暮らし高齢者の方を見守り訪問し、介護予防に取り組みむとともに、問題の早期発見、早期解決に努めております。今後も、さらに、高齢者いきいき元気センターの機能の強化に努め、高齢者の方々が、未永く住み慣れた地域で、いきいきと生活できるよう支援してまいります。</p>	高齢介護課

健康に関すること

<p>乳児健診も国分出張所でも実施してほしい。</p>	<p>国分出張所では、施設のスペース、設備や駐車場が充実しておらず、また検診方法を考慮しますと、市保健センター以外での導入は難しいのが現状です。引き続き、市保健センターでの受診をお願いいたします。</p>	健康福祉課
<p>健康診断を日曜、土曜日、祝日にもしてほしい。</p>	<p>健康福祉課が行っておりますがん検診については、日曜日に胃・大腸・肺がんをセットで受診できる日を年に2回設けており、今年度からは、午後からも受診できるよう回数を増やしております。また、乳がん・子宮頸がん検診については、個別受診が可能であり、診療時間内では夜間、土曜日に予約なしで受診できるなど、受診者の便宜を図っております。</p>	健康福祉課
<p>がん検診など無料クーポンの配布はとても良いと思いますが、予約が取りにくいように感じます。早めに電話してもいっぱいになっているということがある。せっかく受けようと思っても、受けられないという人もいます。</p>	<p>がん検診の予約方法につきましては、現在予約希望が分散されるように、2か月毎の予約をお願いしているところです。しかし、予約日当日から電話が殺到し、希望日に予約が取れないこともあり、市民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしております。今後の予約方法につきましては、皆さまのご意見・ご要望を踏まえ、十分に検討を続けていきたいと考えております。</p>	健康福祉課

病院に関すること

<p>市民病院の向上。</p>	<p>今年度中に、救急体制の整備・告示、大阪府がん診療拠点病院の認可を受けるとともに、慢性期患者の一部受け入れ、循環器医療の充実を図ってまいります。</p>	病院事務局
<p>役所でのサービスは良くなっているが、病院の待ち時間が長いと思います。もう少し方法を考えてくださるようお願いいたします。</p>	<p>診察は、より適切で丁寧な診察に心がけておりますので時間がかかる場合もあり、待ち時間に関しては、ご迷惑をおかけしております。医師の増員について、関連大学にも要望してまいります。</p>	病院事務局
<p>住民税が高いので、将来的に柏原市を離れる人もいるのでは？と思う。人口減少で負のスパイラルの危機。市民の税金が使われているので、柏原病院を利用する他市民の料金を何割増しかにしてもいいのでは？</p>	<p>病院における治療費は、国の定める保険診療点数に基づいて治療費が決まりますので、差を設けることはできません。しかし、個室料の差額ベット代については、差を設けております。</p>	病院事務局
<p>市立柏原病院をもっと信頼できる医療機関にしてほしい。待ち時間も長すぎる。聴診器もあてず、脈も取らない、パソコンばかり見て患者を診ない等、高齢者から不満の声をよく聞きます。</p>	<p>医師の診療については、医局会議等で徹底してまいります。待ち時間については、より適切で丁寧な診察に心がけておりますので時間がかかる場合もあります。医師の増員について、関連大学にも要望してまいります。</p>	病院事務局
<p>市民病院があっても救急の時、夜間の時、他の遠いところへ行かされる。もっと市の病院に安心して行けるように、先生を配置してほしい。市の病院なんだから。福祉についても、事務的、心がこもっていない。</p>	<p>木曜日は午後5時から翌朝8時30分まで、土曜日午後1時から月曜日午前8時30分まで内科・外科の時間外診療を行っております。医師の増員については、関連大学に要望してまいります。</p>	病院事務局

柏原市にもすべての科がある総合病院がほしい。	近年、医療の高度化が顕著であるため、柏原病院での治療が困難な場合は、関連大学や専門病院を紹介させていただいております。	病院事務局
市民病院の診療科が充実し、救急診療などに対応できる病院となってほしいです。	今年度から呼吸器内科医師2名が着任され、呼吸器疾患に対応が可能となりました。循環器サポートチームを発足させ、循環器疾患にも対応が可能となっております。今年度中に救急告示病院の指定を受ける計画です。	病院事務局
柏原病院の赤字解消に向けての努力はされているのでしょうか。また、病院の診療時間についても午後から予約の患者のみとされたり、産婦人科・小児科など土曜の診察がないのは、市民としては、大変利用しにくいと思われま。身近な病院として、柏原病院は必要ですので、市民が利用しやすいようにお願いします。	市立柏原病院新改革プランを策定し、平成27年度末の資金不足額の解消に向け、病院職員が一丸となって取り組んでおります。また、診療時間の延長等については、健全経営とのバランスを考慮し、検討してまいります。	病院事務局
子どもの救急医療体制に不安を感じています。	小児科については、通常診察以外に、現在は木曜日午後5時から7時30分まで、日曜日午前9時から11時30分まで時間外診療を行っております。今後、外科については、拡大するよう検討してまいります。	病院事務局

道路に関すること

旭ヶ丘3丁目のローソン前の横断歩道に信号機が無い為、なかなか渡れない人をよく見かけます。車も止まってくれず事故も何度か見ています。何か解決案ないものですか。住み良い環境を願っています。	ローソンの前には信号機がなく、前後とも150m程離れて設置されています。事故防止のため、交通安全を広く市民の方に呼びかけるとともにこの道路の管理者である大阪府や警察にも意見を伝えさせていただきます。	道路水路整備課
国分駅周辺の道路渋滞の緩和。	国分駅周辺の道路渋滞につきまして、本市はこれまで、TDM施策（TDMとはTransportation Demand Managementの頭文字）という交通需要マネジメント施策に取り組んできました。具体的には、奈良県のJR王寺駅や近鉄五位堂駅における公共交通機関の利用を促進し、駅内表示施設の設置、バスの位置情報の提供、駐輪場利用者への路線バス割引等に取り組んでいます。また、国道165号からの国分駅までの交通量を減少させるため、国に対して西名阪高速道へ誘導するよう要望してきました。このような取組は、一朝一夕に効果が現れるものではなく、長期的な対応が求められます。今後、奈良県にも更なる協力をいただき、併せて、国交省、大阪府に対しても、国道25号の渋滞解消に向けた取組と、未だ実現されていない高速道への誘導について、実現に向けての取組を続けてまいります。	道路水路整備課
道路わきの雑草が道路幅を狭くしているのに、草刈をしてくれない。	本市では、市が管理する道路において、通行車両及び歩行者の安全を確保するために、道路沿いの草刈を行っております。草刈につきましては、道路の幅員、道路形態、通行量及び財政状況を踏まえ、場所により年1～3回の草刈を実施しています。また、通行量も比較的少なく、幅の狭い里道・農道等においては、地元の方のご協力をいただき、市民と協働して草刈等の維持管理を行っております。住民の方から、雑草で通行に支障が出ているとご連絡をいただいた場合には、現地を確認し、対応についてご説明させていただいた上で、対処させていただきます。	道路水路整備課
青谷の村の中だけ道が狭く、途中まで出来ている道の工事が中断されています。救急車と車がすれ違う時、時間がかかります。一刻も早く青谷の道を通してください。	青谷の村の中の途中までできている道路は、大阪府が管理している道路です。途中までできている道の工事は既に青谷バイパスとして事業計画されています。しかしながら、大阪府の平成20年度財政再建プログラムによって、青谷バイパス事業は凍結となり現在に至っている状況です。したがって、大阪府へ事業再開に向け、まずは凍結解除を要望してまいります。	道路水路整備課
旧大和川病院跡前の奈良へ繋がる道路の道幅を広くしてもらいたい。大型トラックも沢山通りますし、夜間や雨の日など事故も頻発し、通行に不便の極みです。交通量を考えると、早急にどうにかしてもらいたい。	ご指摘の道路は、大阪府が管理しております府道183号本堂高井田線であり、道路拡幅に向けた事業主体は大阪府になります。いただきましたご意見は大阪府に伝えてまいります。	道路水路整備課
冬場のカーブミラーがくもってまったく見えない事がある（気付いたところでは、玉手町シャトルメールの自転車置場のところなど）。	冬季の朝などは、カーブミラーに霜が付着して見えないことがあります。以前、試験的に曇り防止処理したミラーも使用しましたが、コーティングが剥がれ、長期的な成果はありませんでした。現在、メーカーにも問い合わせしていますが有効な手段はありません。	道路水路管理課

歩道や自転車道に関すること

安心して歩ける身近な生活道路の整備について、※1 石川沿いの柏原駒ヶ谷千早赤坂線（27号線）の歩道が大変狭く、トラックのミラー等に当たりそう。雨の水たまりが車のはねになり、かさで防ぎながら駅方面に行きます。※2また、反対方向、市役所に歩くと、石川橋から学校給食センター横の道路の川沿いの歩道が極めて狭く、強風に落ちそうになる。※1については、玉手橋たもとの信号待ち付近のみ面積を広げる工事がなされましたが、どれだけ意味があるのか疑問です。そこから石川橋までの歩道を広げてほしいです。※2については、自転車道がない今、中高生が落ちそうになりながら自転車を走らせ、その横を車が走っています。大切な生命がなくなるいうちに対応してください。	※1について、路面の損傷状況把握し、補修を行います。また、歩道については大阪府と協議を行い、歩道拡幅について検討していきます。※2について、この区間の道路管理者である藤井寺市にご意見を伝えさせていただきます。	道路水路整備課
--	--	---------

<p>車イスやベビーカーがスムーズに動かせるように、歩道はレンガなどのかざりはいりません。歩道は自転車を通れる広い、子供達が安全に通れるものがいいです。</p>	<p>改修する際には、ご意見を参考に整備してまいります。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>旧170号線平野地区内の両側に歩道の整備をしていただきたい。</p>	<p>旧170号線は、大阪府で管理されている府道であります。ご意見をいただきました、旧170号線の平野地区（平野交差点～堅下小学校前交差点）においては、現在、大阪府八尾土木事務所にて、道路の両側に歩道を整備する工事が実施されております。この歩道整備工事は、平成26年度内に完成する予定です。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>市役所から高井田へ行く川沿いの道路ですが、途中から自転車や歩く方々の道の幅がせますぎます。トラックがたくさん通るので危ないです。</p>	<p>柏原市は国道25号線を管理している国土交通省に歩道拡幅等の整備、改良を要望しておりますが、近鉄線の高架橋下部付近の拡幅、改良については、用地の確保及び工事費用の確保等から、相当な時間と多額の費用が必要である状況であります。市としても、現状を認識し、安全・安心な通行を確保するため、引き続き国土交通省へ要望してまいります。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>国分図書館の前の道、何10年間も計画が進まないのなら、もう一度検討をし、見直しすべきではないでしょうか？市内の道も途中は広くなって整備されていても、一部だけというのも変ではないでしょうか？災害に強いまちづくりに期待します。</p>	<p>国分図書館前の道路は、都市計画道路として国道25号から府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線までを結ぶバイパス道路として事業を進捗させております。現在、道路築造に必要な用地の買収を行っており、確実に進捗しております。道路を拡幅するには、必要な用地を買収することになり、多額の予算が必要となります。したがって、緊急的、効率的な部分から優先的に整備を進めている状況です。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>主要道路に自転車道の整備。交通事故減もあるが、自転車はエコであり、健康増進にもつながる。また、大和川のサイクリングロードは、大正橋付近だけ整備されていない。車イスも通行しやすい様に、歩道の段差や勾配の改善。特に道路工事後のつぎはぎ舗装の段差やくぼみ等。意識調査も大切だが、現場に足をはこべば専門家であれば、色々みえてくるのでは、そして直面している方に話が聞けるのではと思う。</p>	<p>主要道路に自転車道を設けるには、車道や歩道の幅員を減らして自転車道を設けることができないため、新たに用地買収することが必要となります。大正橋付近の整備については大和川河川事務所へご意見を伝えさせていただきます。車イスの通行、歩道の段差、勾配の改善については、道路のバリアフリー整備ガイドラインに基づき誰もが利用しやすい形態で整備を行っています。道路舗装面の下には、生活に必要な不可欠なライフラインが埋設されており、それぞれの管理者が維持管理や新設を行っているため、舗装面につぎはぎができることがあります。</p>	<p>道路水路 整備課</p>

自転車に関すること

<p>放置自転車の回収した自転車は、ある程度期間をおいたら、市民に安く売ったらどうですか。私の自転車どこへ行くのか心配です。JR柏原駅の自転車置き場150円は高いです。安くて便利な生活が・・・小さい所から考えてほしいです。</p>	<p>回収してから3か月以上経過しても、引き取りに來られない自転車は、廃棄処分しています。また、状態の良いものはレンタサイクル等に活用しています。以前も、市民の方へ販売するという方向で、試算したケースがありましたが、市民の方に安全に乗っていただくためには高額な整備費用がかかるため、自転車の販売は実施しておりません。また、自転車駐車場の使用料金は、周辺各市の平均的な価格となっております。柏原市では、安全で安心な自転車駐車場運営のため、自転車駐車場の補修工事や夜間照明の充実を図っております。</p>	<p>道路水路 管理課</p>
<p>自転車の交通規制をもっと学校で教育しなければいけない（例 長瀬川の遊歩道を数多くの小・中学生が自転車で通行している。）。</p>	<p>自転車の安全な乗り方は、毎年秋に警察と柏原市で小学3、4年生を対象に交通安全教室を実施しております。高校生につきましては、毎年春に柏原警察交通課が安全講習を実施しております。自転車のマナーの悪さが問題になっていきますので、今後は街頭等でマナー向上のための啓発活動を警察や関係機関と連携して一層強化してまいります。</p>	<p>道路水路 管理課</p>

川や橋に関すること

<p>平野川の整備について</p>	<p>平野川は、大阪府が管理する1級河川であります。平野川は、老朽化した護岸や河川環境の悪さが目立ち、本市から大阪府に平野川の改修を要望しており、今後、大阪府で平野川の整備を実施する予定です。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>私は青谷地区に住んでいますが、この地域の方々みんながとても切望していることがあります。それは、道路などのインフラ整備です。といっても何億もかけて整備してほしいと言っているわけではありません。この地域は、一度来てくださるとわかるのですが、とても細い弁天橋、旧村の入り組んだ細い道、入る車の大きさは、限定されており、道路によって分断された地域でもあります。それも一つの要因としてか、高齢化も加速しております。高齢のドライバーも多く、また、20年後は空き家になるのではと思われる家が立ち並んでいます。そこで、せめて弁天橋の幅員をもう少しだけでも拡張していただけないでしょうか。そうすれば、車の行き来も少しは楽になります。もし、長いスパンでインフラ整備していただければありがたいです。それによって、村の高齢化も少しは解消されるかもしれません。よろしくお願ひします。</p>	<p>弁天橋は、平成22年度に橋台に異常が認められたことにより、平成22年度から平成23年度にかけて、国からの補助事業で補強工事を施工しました。この橋を拡幅するためには、既存の橋をそのまま利用することができず、新規に設置することになり、多額の工事費が必要となります。したがって、現状の橋を長い期間利用できるように、修繕・補修を行っていく予定としております。</p>	<p>道路水路 整備課</p>
<p>石川の河川敷は整備され、多くの市民がウォーキングを楽しんでいる。しかし、柏原市と羽曳野市の境界で（円明町）プツリと道がなくなっている。飛鳥川を渡るのに、急な傾斜の土手を登り、車が激しく行き交う狭い橋を渡り、羽曳野市側の河川敷に降りなければならない。石川の河川敷の歩道に続く橋を作ってほしい。</p>	<p>橋の整備につきましては、石川河川敷の整備を行っている大阪府にご意見を伝えさせていただきます。</p>	<p>道路水路 整備課</p>

公園に関すること		
国分本町地区には全く公園がないので、子供が遊べる所がない。	国分本町地区には、ご指摘のとおり公園や広場が非常に少ない状況でありましたが、本年度初めに、大和川親水公園を開園しましたのでご利用ください。	公園緑地課
水に関すること		
水道料が人数割で使用量が多くなった分は割高になっても仕方ないと思います。しかし、現状での料金は、一家族につき、使用量が多くなれば、単純に料金が加算される料金制度では、乳児や子供が多い家族は大変です。もともと料金が高いのでしょうか。例、夫婦・長男3人で2ヶ月7～8,000円でした。子、母親が2名で合計額が20,000円迄増加してます。7,000～8,000 30k l 20,000 64～5k l	本市の水道料金は、お使いいただく市民の方々の負担の公平性を図る観点から、人数制ではなく電気料金等と同じ基本料金制と従量料金制を採用しております。基本料金制はお使いの水量に関係なく、毎月、定額をお支払いいただくものです。従量料金制はお使いの水量に応じてお支払いいただくもので、水量が多くなるに従って高くなる逓増制となっております。この基本料金制と従量料金制は、全国の多くの自治体が採用しております。また、本市の水道料金は大阪府下43市町村の中で安い方から15番目で、府下平均よりも低い額となっております。今後とも安全かつ良質な水道水の供給のため、より一層の健全経営に努めてまいります。	経営総務課
水が汚い（水道水）！白くにごっている！	水道水が白く濁る原因は、水道工事等の際、水道管内に入った空気が水道水の中に溶け込み、細かい気泡となって出てきたため白く濁ったような状態になる現象です。しばらく使っていただきますとこのような現象は無くなります。通常白く濁った水をコップなどの容器に汲みしばらく放置すると、下のほうから徐々に透明になります。細かい空気の混入によるものなので安全性に問題ありません。安心してお使いください。水道水の水質につきましては、蛇口まで保障しております。このような現象が何日も続くような場合には、水道本管や給水装置に異常があるかもしれないので、水道工務課まで連絡してください。	水道工務課
国分市場1丁目は未だに下水が整備されていない。	本市の下水道整備につきましては、公共下水道整備計画に基づいて計画的に整備を行っております。現在は平成23年度から平成27年度までの公共下水道整備第6次五箇年計画に基づき整備を行っております。ご意見をいただいております国分市場1丁目地区におきましては、整備済の箇所もございますが、柏原市全体の下水道整備を計画的に進めるため、当該地区の整備は平成28年度から平成32年度までの公共下水道整備第7次五箇年計画で整備を予定しております。	下水工務課
スポーツに関すること		
長男が、バスケットボールに興味があるのですが、市の講座では、市立体育館まで行かなければならず、残念そうにしていました。第二体育館でも行って頂けるなら嬉しく思います。	第二体育館は、武道関係競技を対象として設計された体育館で、天井高や広さの関係上バスケットボードは設置しておりません。また、バスケットコート1面分がとれないことから、開館当初よりバスケットボール競技での体育室利用はご遠慮していただいております。近年、バスケットボールのブームにより、バスケットボードの設置を検討しましたが、体育室の窓位置が低く設置することができませんでした。ご意見にある市立体育館でのバスケットボール講座は、市立体育館や第二体育館の指定管理者である㈱オーエンスが企画運営しております。このご意見を㈱オーエンスに伝え、ご希望の講座が開設可能か否かを検討していただくようお願いいたします。	スポーツ推進課
公民館に関すること		
堅下合同会館を、以前は月に4回利用させていただいていましたが、月に3回しか利用できなくなりました。以前のように、月に4回利用させていただきたいです。	公民館本館、堅下分館、国分分館の公民館施設をできるだけ多くの団体に利用していただくために、利用人数5人以上50人未満の団体は、月3回まで利用をさせていただいております。50人以上の団体は、月4回まで利用できるようにご案内しております。堅下分館では、現在58団体にご利用いただいております。定期的利用者以外の申込みも多く、利用者の機会均等を保つにはどうしても利用者制限が必要となってきているのが現状です。	公民館
文化教室など、平日19:00くらいから受講できるものを増やしてほしいです。働く单身者にも市民サービスが受けられるような配慮がほしいです。	公民館講座は、現在勤労者の方々にも配慮し、土・日曜日に開講する講座や、平日の午後6時半又は7時から開講する講座も実施しております。例えば、平成25年度春からの講座では、水彩画講座が土曜日の午前10時から、フランス語・英会話講座が平日の午後7時から実施しました。また、秋からの講座では、油絵講座を日曜日の午前11時半から、女性を対象としたゆかた着付一日講座を土・日曜日の午後1時半から、韓国語講座を土曜日の午後6時半から、社交ダンス講座を木曜日の午後7時から、きもの着付け講座を土曜日の午後1時半から、それぞれ実施しております。なお、午後7時頃からスタートする講座は、終了が午後9時頃になるため、女性の方の中には、防犯上あまり好まれない方も現実におられます。公民館としては、多様な講座を企画し、市民の方々に少しでも選択肢を多くして、講座参加の機会均等を図ってまいりたいと考えております。	公民館
図書館に関すること		
図書館の本を増やしてビデオやDVD、CDをたくさん加えて豊富にしてほしい。	平成25年3月末の蔵書冊数は、柏原国分両図書館で225,277冊、ビデオ1,114本、DVD257タイトル、CD453点となっております。平成24年度の図書購入冊数は、柏原国分両図書館で7,148冊です。寄贈等図書冊数は、835冊、寄贈CDは158点で、図書受入冊数は、図書7,983冊、寄贈CDは158点であります。DVDにつきましては、平成23年度の交付金により40タイトル購入いたしました。平成24年度は、予算の関係上、また図書館用DVDは著作権の補償処理が必要なため価格も高く購入できませんでした。しかしながら、視聴覚資料（DVD、CD）も重要な図書館資料でありますので少ない数ではありますが購入し、また寄贈CD50点をいただきましたので、順次整備し、提供してまいりたいと考えております。	図書館

学校に関すること

<p>小学校、中学校等、夏に扇風機を複数に設置してるだけなのですが、せめてもの図書室とかだけでもクーラー設置とかは、無理なお話でしょうか。</p>	<p>図書室については、順次、クーラーの設置を行っております。また、未設置の学校についてもクーラーを順次設置する予定です。</p>	<p>教育総務課</p>
<p>通学路は人目につきにくく、大きな家が多いので、何かあった時に気付かれにくいと感じます。街灯の増設や学校庭の開放など、地域でも協力したいと思いますので、安全面、遊び場の確保をよろしくお願いします。</p>	<p>通学路の安全確保につきましては、教職員やPTAをはじめ、健全育成会の諸団体のご協力のもと、登下校時の交通安全指導、子ども安全見守り隊、子ども110番の家、学校安全モニター員、青色防犯パトロールなどの見守り活動を行っています。従来より安全への意識は高まってきておりますが、不審者等による犯罪も増えてきておりますので、今後とも関係機関と連携し、更に通学路の安全を確保、安全対策を充実させていくよう、学校に周知いたします。</p>	<p>学務課</p>
<p>高校生、中学生、小学生の登校、下校時の道路の歩行指導をしてほしい。</p>	<p>登下校の状況に関しましては、横に並んで歩いたり、危険な歩き方をしているなど、市民の皆さまにご心配やご迷惑をおかけしていることがあると聞いております。交通安全指導とともに、歩行のマナーについても常時指導しておりますので、今後もお気づきの場合には、学校にご連絡いただきますようお願いいたします。</p>	<p>指導課</p>
<p>教育について、中途半端な小中一貫教育は不合理をおこしただけに過ぎない。その為に新人教師が派遣され、かえって生活指導・学習が低下し、犠牲になっているのは子ども！学力向上にはあまりつながっていないと思う。</p>	<p>本市が小中一貫教育に着手して今年で7年目になります。この間、異校種の教員の交流が進み、つながりを意識した教育計画の策定や、共通の目指す子ども像の設定、児童・生徒間の交流等、様々な取組を進めてまいりました。ご指摘のように、これまでの過程においては、異校種教員間の考え方や価値観のずれによる不具合が生じたこともございますが、現在は共通理解が進み、特に先行実施してきた学校においては学力面、学習意欲においても成果がでてきております。</p>	<p>指導課</p>
<p>11年秋に柏原駅近くのタバコ自販機で、体操服を着た生徒が2人で自転車を2人乗りしてタバコを買っていました。もっと警察が動かなければならないと思います。夜中に中学生がうろろろしているのも気になります。</p>	<p>喫煙については、学校でその害について毎年指導しております。実際に喫煙が発覚した場合には、保護者を交えてやめさせるよう指導しています。未成年者が容易にタバコを買える自動販売機については、お店側にその撤去を求め、警察にも協力をお願いしています。中学生の夜の外出につきましては、生徒指導上憂慮される事項ですが、学習塾の終了時間等の関係もあり、家庭との連携が必要であると感じております。学校でも状況を把握し、指導を継続していきます。</p>	<p>指導課</p>